明治十八年
發兌

讃美歌

東京
江岌菴版

明治十八年

讃美歌

發兌

江叢花版

東京

讚美主乎　（默示錄十九ノ一）

萬物みな眞神のめぐみによりて世にあるものなればいかなる物と雖も眞神を讚美せざるの理なし禽獸草木昆蟲にいたるまでも皆眞神を讚美す。然るに人類は罪を犯して眞神に遠かり眞神を讚美するにひきかへて惡魔を讚美するにいたれり。されども我儕基督教徒はいま眞神の鴻恩によりて耶穌を信じ罪をゆるされて眞神と和ぐことを得た

れバ其鴻恩に感して|エホバなる眞
神の聖名をさんびせずんバあるべ
からず|エホバなる眞神を知るもの
はよろしく其名を讃美すべし

明治十八年三月　日

○祈禱の歌

第一	あめにまします	一丁
第二	いとたかきかみよ	二丁
第三	かみよわれをして	三丁
第四	かみのみやのため	仝
第五	いのるまぞたふとき	四丁
第六	おんまへにきたり	五丁
第七	いのれバいつも	六丁
第八	耶穌なくば	七丁
第九	われらのつみをバ	仝
第十	うまれしときより	八丁
第十一	われたるいはよ	九丁
第十二	ダビデのすゑなる	十丁
第十三	はやてはげしく	十一丁
第十四	わがかみエホバよ	十二丁
第十五	われらのともなる	十三丁
第十六	ああきみのきみなる	十四丁
第十七	耶穌よまころに	仝
第十八	たつきもえらぬ	十六丁

○感謝の歌

第十九	耶穌きみのほかよ	十八丁
第二十	われかみをすてて	仝
第二十一	さかえのきみの	十九丁

第二十二　わがきみハ死して　二十丁
第二十三　われをばたのまじハ　二十一丁
第二十四　かみのこひつじハ　二十二丁
第二十五　われらのきみなる　二十三丁
第二十六　われやめるときに　二十四丁
第二十七　われらハつみある　二十五丁
第二十八　たのしきみそのに　二十六丁
第二十九　われられのまたる　二十七丁
第三十　つみのけがれにおほはれて　二十九丁

○讃美の歌

第三十一　たふとむわがかみの　三十丁
第三十二　地にすめるたみハ　三十一丁
第三十三　わがすくひぬしを　仝
第三十四　かみのいつくしむ　三十二丁
第三十五　耶穌の名にまさる　三十三丁
第三十六　エホバをほめよ　仝
第三十七　てんちのさきよ　三十四丁
第三十八　ひとりのみこをば　三十五丁
第三十九　いつくしみふかき　三十六丁
第四十　めぐみよとめる　三十七丁
第四十一　耶穌われをあいす　仝
第四十二　わざをよにうめる　三十八丁
第四十三　わがきみ耶穌キリストは　四十丁

○教の歌

第四十四　すべてのたみよ　四十一丁
第四十五　こころのまづしき　四十二丁
第四十六　キリストのまへに　四十三丁
第四十七　わがくよいつねに　四十四丁
第四十八　けふ主がまねく　四十五丁
第四十九　われあしきものの　四十六丁
第五十　さまよへるものよ　仝
第五十一　サタナよとられ　四十七丁
第五十二　なみだのたになる　四十八丁
第五十三　ねむれるつみびと　四十九丁
第五十四　われらのちちある　五十丁
第五十五　耶穌人にかはりて　五十二丁
第五十六　あすなりと　仝
第五十七　たてよもののふ　五十三丁
第五十八　いそげやいそげ　五十四丁
第五十九　やまひのとこに　五十五丁
第六十　おそろしや　五十六丁
第六十一　みちよえたがふもの　五十八丁
第六十二　たのしきくよえ　五十九丁

○祝の歌

第六十三　たみゝあよろこべ　六十丁
第六十四　うみにひびかせ　六十一丁

第六十五　ダビデのすゑの　全
第六十六　よにそむつみびと　六十二丁
第六十七　われらとくたちて　六十四丁
第六十八　あさ日ハのぼりて　六十五丁
第六十九　ひつじをかふもの　六十六丁
第七十　あまつつかひの　六十八丁
第七十一　きみハうるはしき　六十九丁

○雑歌

第七十二　いつくしむともよ　七十丁
第七十三　かみがくだり　七十一丁
第七十四　あみかせのあらき　七十二丁
第七十五　わがふるさとのすみかハ　全
第七十六　われらてんのみづよ　七十四丁
第七十七　われもがちちの　七十五丁
第七十八　まことのちちなる　七十八丁
第七十九　わきわがともよ　七十九丁
第八十　みじかきこのよの　八十丁
第八十一　すくひぬしある　八十一丁
第八十二　やみよのやミも　八十二丁
第八十三　あまつをとめの　八十三丁
第八十四　エホバハわれを　八十四丁
第八十五　かみわがしろなり　八十五丁
第八十六　とめるかみに　八十六丁
第八十七　めぐミのひかりハ　八十六丁
第八十八　あれのミまよへる　八十七丁
第八十九　われのかミよ　八十八丁
第九十　よのあくるときや　八十九丁
第九十一　わきらながく　全
第九十二　耶穌ハわれらが　九十丁
第九十三　わがたましひを　九十一丁
第九十四　われ耶穌のこゑを　九十二丁
第九十五　たのしきくにあり　九十三丁
第九十六　わきたび人ぞ　九十四丁
第九十七　わが十字架をおひて　全
第九十八　このよにさいはひある　九十五丁
第九十九　われよろこびてをすみ　九十六丁
第百　われのきみかハ　九十七丁
第百一　くらきよよねむる　九十八丁
第百二　われのたゝかふべき　九十九丁
第百三　めぐみふかき　百丁

祈禱の歌

第一　Nuremburg.　ニューレンボルグ

(1) あめにましますわれらのちちよ
みなをあがめてたふとませたまへ

(2) みくにをきたらしそのみこころの
あめになるごと地にもなさせよ

(3) 日ごとのかてをわきらにたまへ
ひとをゆるせばこきをもゆるせ

(4) あくよりこきをすくひいだして
まどはすかたへさそはすなかき

(5) くにもちからもさかえもながく
たもちたまへばこきはかくねがふ

第二　Old Hundred.　オールド　ハンドレッド

(1) いとたかきかみよ　みゝをかたむけて
われらのいのりを　きこしめしたまへ

(2) ふしてねがはくは　かみのたゞしきと
そのまことをもて　われらにこたへよ

(3) われてをのばして　かみをのぞむこと
ひでりのみそらに　あめをまつごとし

(4) かみよすみやかに　わがいのりをきけ
われのたましひは　すでにつかれたり

(5) かみよそのきよく　うるはしきかほを
けがれたるわれに　かくすことなかれ

(6) あしたにみちびき　ゆふべにおしへて
つみをさりかみに　かへらしめたまへ

第三 Old Hundred. オールドハンドレッド

(1) かみよ己れをして　そのめぐみをしり
つねによりたのみ　はなれざらしめよ

(2) かみよわれをして　うゑかはくごとく
いのちのかてなる　み子をしたはせよ

(3) かみよ己れをして　耶穌をふねとなし
このよのなだをば　やすくわたらせよ

(4) かみよわれをして　耶穌の手にすがり
はなるゝことなく　ともにゆかしめよ

(5) かみよわれをして　おそるゝことなく
サタナとたたかひ　かたしめたまへよ

第四 Marlow. マーロー

(1) かみのみやれため　やすきをねがふ
いつくしむものよ　さかはあれな

(2)
ひたすらにねがふ　おほみやのうち
かぎりなくさかえ　いよやすかれ

(3)
いつくしむともよ　われなんぢらが
みなもろともにぞ　やすきをねがふ

(4)
かみなるヱホバの　みやによりて
我なんぢらのため　さいはひをねがふ

第五 Sweet Hour of Prayer.（スウイート アワア オフ プレヤー）

(1)
祈るまぞたふとき　くるしめるときま
わがきゝはこれを　ろのざまきたれと
まねきてこれらが　おへるおもにをば
やがてとりおろし　やすきをあたへり

(2)
いるまぞたふとき　耶蘇きみのまへま
すすみちかづきて　そこにてそいのれ
耶蘇われをまねき　きたれよとよべり

(3)
我は信じてゆかん　我きみにまかせん
祈るまぞたふとき　慰さめおほくあり
をはりまでたへぞ　潔ぎよくねがはん
これを天にのぼらば　そこにていのらじ
耶蘇を譽たたへん　限りなくあがめん

第六 Hendon.（ヘンドン）

(1)
おんまへにきたり　みもとまねがふ
たらぬみなれど　かへりみたまへ

(2)
しひたれたまひ　主とたのむかみ
これのこころを　あかしみたせよ

(3)
われ主をもとめ　こゝまぞすべる
ゆくみちしらぞ　しめしうけぞば

(4)
なげくものには　なぐさめあたへ

よはるものには　ちからをさづけ
(5) とりこをはなち　やまひをいやし
やすくあらせよ　主ともろともに

第七 Halle.（ハレ）

(1) いのればいつも　きこしめをかみ
きこしめされよ　みかほそむけぞ
(2) けがれきよめて　これこれどもを
みもとにとらせ　みことかぞへて
(3) わがみはちりぞ　よくまもりまし
愛にすまはせよ　まひごとおさぞ
(4) 耶穌のいさをに　よりてこれらに
のぞませたまへ　天にあるものぞ

第八 Yesunakuba.

(1) 耶穌なくは　われらいかでか
ときのまも　やすらかならん
(2) あゝ耶穌よ　はやくきたりて
われこれと　ともにいまして
(3) かたときも　われをはなれぞ
もろもろの　あくをさりぞけ
(4) もろもろの　まどひとりのけ
おはみむね　をしへたまひて
(5) われらをば　かみのみものと
かぞへなし　まもりたまへよ
わがすくひぬし

第九 Oroonville.（オートンブイル）

(1) われらのつみをば　あがのふ耶穌の

おほいなる恵みに　いとかしこし

(2) すくひぬし耶蘇を　ほめたたへんに
ちよろづのくちも　うたふにたらじ

(3) そのいつくしみに　これをやすめん
つみとがうれひも　みなきえはてん

(4) われのきみ耶蘇よ　みなによりて
ひろむるおしへを　たすけたまへ

第十 Naomi. (ナオマイ)

(1) うまれしときより　こゝろくらく
つみもあやまちも　これにもてり

(2) あけくれ日ごとに　やむときなく
手をもてくちもて　つみをおかし

(3) けがれしこのみの　つみのちりを

(4) いづれのときにか　みなあらはれん

(4) 耶蘇のなによりて　ちちのかみよ
これらをあはれみ　すくひたまへ

(5) きよきみたまをば　われにそそぎ
けがれしこころを　きよめたまへ

第十一 Rock of Ages, (ロック　オフ　エージエス)

(1) これたるいはよ　われをかこめな
さかれしわきの　みづまたちしほ
つみもなやみも　きよくあらへよ

(2) わがみによもく　おきてにかなへど
こころはげめど　なみだにもろし
わがきみのみぞ　つみよくあがなふ

(3) 手にものあらで　十字架にすがる

(3) よわきこのみも　けがれしたまも
主のたすけなくは　ながくゑぬべし

(4) くさばのつゆと　いのちはきえて
みぬよにうつり　かみをみるとき
これたるいはよ　われをかこめな

第十二 Dundee. ダンデイー

(1) ダビデのすゑなる　われのきみよ
われをあはれみて　たすけたまへ

(2) われのたましひは　うゑかわかれて
ほろぶるばかりに　いまあやうし

(3) われはいぬよりも　いやしけれど
こどものかてをば　なげあたへよ

(4) めぐみゆたかなる　すくひぬしよ
まづしきかたるを　たすけたまへ

(5) われをみすぐして　ゆくことなく
みかほをふりむけ　とまりたまへ

第十三 Martyn. マーチン

(1) はやてはげしく　なみたちあがる
いだきてたまへ　わがすくひぬし
はやみなとべに　これをみちびき
うけとりたまへ　かみのキリスト

(2) よるべなきみぞ　あはれみくはへ
すでにたすけて　いさめなぐさめ
そでうちかけよ　たすけなきみぞ
ただよりたのむ　エスキリストに

(3) もとめてあまる　おほくのものを
これをかうむる　キリストよりぞ

(3)
エスもただしく　わがみはまがり
エスハかけなく　われはつみのみ

第十四 Brattle Street. ブラツトル ストリート

(1)
わがかみエホバよ　われをすくへ
われをせむるもの　ゐらにおほき
かれらはさけびて　わがたましひを
かみはすくはじと　ののしるなり

(2)
わがかみエホバよ　われをまもれ
われをばかこみて　たてとなれな
われのさかはなる　かみにねがふ
我(われ)をしてかうべを　あげさしめよ

(3)
わがかみエホバよ　われにききけな
われのこゑをもて　さけぶときに
そのきよきやまの　うへにありて
ゐやしきわれらの　いのりをきけ

(4)
わがかみエホバよ　われをまもれ
われやすくふして　またさむべき
ねむれるよのまも　ひるもわれを
はなるることなく　まもりたまへ

第十五 Stockwell. ストウクウエル

(1)
われらのともなる　耶穌のめぐみと
そのいつくしみは　おやにまされり

(2)
われらにかはりて　十字架に死せし
耶穌のいさをにぞ　われはすくはる

(3)
かみにしいませど　このよにくだり
つみびとのともと　なりたまひける

(4)
いとたかきかみよ　いやしきわれを
耶穌の名によりて　ちかづかしめよ

第十六 Greenville グリーンブヒル

(1) あゝ君(きみ)のきみなる　エホバのかみよ
あれのにまよへる　われたびびとぞ
マナのごとあめの　かてをふらせよ

(2) かわかぬいづみの　ながれをしたひ
たちつづくくもを　はしらとたのみ
みちびくひかりと　ともにゆかまし

(3) みなもろともにや　ヨルダンのかはを
わたりておそれぞ　カナンのくにへと
ゆくべきみちをバ　われにをしへよ

第十七 Whiter than Snow.（ホワイタル　ザン　スノーウ）

(1) 耶穌よ心(こゝろ)のやどりて
われをみやとなし給(たま)へ
けがれにそみし此身(このみ)を
ゆきのことくしろくせよ
○われのつみをあらひて
雪のごとくしろくせよ

(2) われらのために耶穌ハ
肉(にく)をさき血(ち)をながせば
我等(われら)は耶穌にぞ任(まか)せん
身も魂(たま)しひも皆捧(さゝ)げん

(3) 我等(われら)はいまひたすらに
御前(みまへ)に伏(ふ)してねがふなり
生(うま)れこしわがあしきを
いま新(あら)たになしたまへ

(4) ふかき恵(めぐ)みの血(ち)しほに
きよめらるるぞ嬉(うれ)しき
祈(いのり)にこたふわがきみよ
みなをあがめさせ給(たま)へ

第十八 Wabb.（ウエッブ）

(1)
たつきもしらぬ　おほのはら
まよひつつゆく　われをしも
あめにましまず　かみこそは
たすけたまはめ　あきつかみ

(2)
くすしきいづみ　いけるみづ
ほりひらかして　かはきなを
おもひをやめて　わがこころ
さひらげたまへ　あめのかみ

(3)
むらしありよし　ひのはしら
くものはしらを　たてましても
わがゆくみちを　みちびきて
またくあらせよ　わが（おほかみ

(4)
をはりのはてに　よるだんの
かはべにいたり　わがちちを
あふぎぞねがふ　おそきてふ
ことなあらせそ　主）のみかみ

(5)
みをばころして　しよかたを
すくひのぬしぞ　くだします
エホバのみくよ　あまつくに
われをいたらせ　ちちのかみ

(6)
おじなきわれも　おほかみを
たたへまつりて　うたひのつ
エホバのみなぞ　すゑながく
となへこそせめ　かしこしや　主）

第十九　Greenville.　グリーンヴィル

(1)
耶穌きみのほかに　たすけはあらず
そのいつくしみも　よにたぐひなし
われをすくふもの　あらざるときに
耶穌われのために　十字架に死せり

(2)
よにいませしとき　わづらふものを
いやせしごとく　いまもなほたすく
耶穌のめぐみをば　われはわすれじ
わがちちはわれを　きよめたまへり

第二十　The Sweetest Name.　ザ　スウィーテスト　ネーム

(1)
われかみをすてて　はなれしときも
かみわれをすてず　つねにまもれり
○我(われ)らかみのため　ちからをつくし
骨(ほね)をば粉(こ)なして　身(み)をもくだきなん

(2)
われかみにむかひ　さからひしときも
かみはいつくしみ　み子(こ)をあたへり

(3)
われかみのみなを　けがせしときも
かみもあはれみて　われをきよめり

(4)
われかみのまへに　つみをおかして
死ぬべき身(み)なるを　かみはいかせり

(5)
われこのめぐみを　わすらふべきや
われは身(み)もたまも　かみにささげり

第二十一　Zadoc.　ザードック

(1)
さかえのきみの　十字架をみれば
たふときものも　もののかずならず
ほこれることも　なにもあらじな

(2) 神なる耶穌の　十字架のほかに
なにかはわれを　つみよりすくはん
うきもなやみも　血にこそあらへ

(2) 手あしとかうべに　ながるるうきひと
愛心をみよかし　あまたのつみを
ひとりのおん身に　ひきうけたまふぞ

(4) よろづのものを　みなわかきみに
ささぐるとても　贄にいたらじ
この身もたまも　われはおしまじ

(5) みじかきこのよ　はかなきわが身
十字架はつきし　きみのめぐみに
死なぬいのちを　うるぞうれしき

第二十二　Arlington. アーリングトン

(1) わがみは死して　血をばながし
いのちを與へんと　われをすくへり

(2) われらにかはりて　十字につける
そのいつくしみ　たぐひあらじ

(3) 耶穌がつみゆゑ　死せしときは
日もくらくなりて　ひかりきえし

(4) 十字架をあふぎて　みなかなしみ
かみはすがりてぞ　いたみなげく

(5) なみだもめぐみに　むくいがたく
わが身もたまをも　ささげまつる

第二十三　Hamburg. ハムボルク

(1) われそれたのまじ　十字架にのぼりし
耶穌われをよべば　我キリストにゆく

(2) われはやすらはで　耶蘇にこそすがれ

罪をあらはんため　我キリストはゆく

(3)
わきもまよひつつ　しばしばうたがふ
うきひれほけきバ　我キリストにゆく

(4)
わきらのやまひと　めしひあしなへも
みなよくいやせむ　我キリストはゆく

(5)
耶穌は我をいきん　よめてぞむかへん
任せてやすまんと　我キリストにゆく

(6)
耶穌われを愛して　恵めばこそしたへ
まことにそむかで　我キリストにゆく

第二十四 Ortonville. オートンビル

(1)
かみのこひつじハ　われらのため
ころされたまひて　血をながせり

(2)
われはかれのため　なにをなせし

(3)
つみをおかしてで　さからひける
われらのおかせし　そのつみをば
かみはこひつじは　みなおはせり

(4)
かれはゆびさして　血にそみたる
かみのこひつじぞ　みよといへり

第二十五 Sicilian Hymn. シシリヤン ヒム

(1)
われらのきみなる　耶穌キリストは
いとたかきかみの　みこにしませど
いやしきこのよに　うまれたまへり

(2)
かはけるつちより　いづるくさきの
みるべきいろかも　あらざるごとく
ひとにはすてられ　いやしめられし

(3)
このよのうれひと　なやみをしのび

われらまれもてを　れはへるごとく
かなしみのひとと　よばれたまへり

(4)
われらがおかせし　すべてのつみの
のろひをみふうけ　いたくくるしみ
みづからうたれて　ひとをいやせり

(5)
いとたかきかみの　み子なる耶穌は
ひつじのごとくに　ひきいだされて
十字架のうへにぞ　はふられたまふ

第二十六 Savior Ever Near.

(1)
われやめるときに　なぐさめあり
われらにかはりて　ちをながせし
耶穌のくるしみを　おもひやれば
われらはいたみの　なきひとなり

(2)
われやめるときに　めをさまして
かみのしもべなる　約百をみれば
サタナにうたれて　いたくやめど
かれはそのかみを　なほあがめり

(3)
われやめるときに　よろこびあり
かみもいつくしむ　子をむちうち
火をもてこころみ　たまふときけば
身をやくばかりの　ねつもしのばん

第二十七 Byefield.

(1)
われらはつみなる　よようまれて
おさなきときより　つみびとなり

(2)
日ごとにおかせる　つみのちりは
つもりてけはしき　やまとなれり

(3)
われらはけはしき　やまのしたに
たふれてかなしみ　さけべるとき

(4) そらよりながるる ひとしづくの
ちしほにけはしき やまはとけり

(5) けもしきわれらの つみのやまも
とけてぞみくには みなこたれる

第二十八 Arlington. アーリングトン

(1) たのしきそのに 己れかへらば
耶蘇の名によりて ちちをぞほめん

(2) われらはまよへる ひつじとなり
たちかへるみちも しらざるとき

(3) よきしつじらひを よにくだして
われらをみそのに つれかへせり

(4) われらはみそのに いまかへりて
わかくさのうへに やすくすめり

(5) たのしきみそのに ながくあそび
きよきみぎはにぞ われいこへる

(6) 己れらはまづしき ひつじなれど
みそのにそめばぞ ともしからぞ

(7) かかるめぐみをば わすらふへきや
己れもそのかみに ながくつかへん

第二十九 Downs. ダオンズ

(1) われらののりたる ふねをみよや
わだなかにありて いまあやうし

(2) さからふかせにぞ なみはたかく
うちよせてふねを ただよはせり

(3) やみのよもふかき うみのうへぞ
あゆみてきたるは たれなるぞや

(4)
われらハみるより　うちおどろき
あやしみおそれて　さけびあへり

(5)
かれはうるはしき　こゑをあげて
こころやすかれと　つげたまへり

(6)
きみよわれらも　みづをふみて
みもとにきたれと　おほせたまへ

(7)
われにきたれよと　つげたまへば
ふねよりくだりて　なみまたてり

(8)
かぜのはげしさに　われハおそれ
しづみかかりてぞ　きみにさけぶ

(9)
きみはてをとりて　われをたすけ
うたがふなかれと　いましめたまふ

(10)
ふねにのりければ　かぜハやみぬ
きみにちかづきて　みなおがめり

(11)
うみよりもふかき　めぐみをうけ
かみのみ子とこそ　あがめまつれ

第三十 Zong.（ゾング）

(1)
つみのけがれにおほはれて
まことのみちをふみまよふ
よそむあはれみみ子をさへ
くだしたまへる神ぞたふとき

(2)
身をへりくだしよのなかに
うまれしたまひしすくひぬし
すくひのかどをうちひらき
ひとをみちびきたまふかしこさ

(3)
おのれをたのみおのが身の
つみをもしらで死のふちに
しづめるひとをあがなひて

たすけたまへるわがすくひぬし

(4)
十字のうへに血をながし
それのおん血によのつみの
けがれをあらひもろひとを
あらたなる身となしたまふなり

(5)
すくひのぬし乃みちひきに
かみのめぐみをいまぞしる
あなたふとしやもろともに
かみのみくににとくすすみなん

讃美の歌

第三十一 Ortonville. オートンブヒル

たふとむ我かみの　父と子聖靈
むかしいまのちも　さかえつねなれ

第三十二 Old Hundred. オールドハンドレッド

(1)
地にすめるたみは　エホバを尊とめな
すくひぬしの名を　あまねくうたへよ

(2)
つきせぬめぐみと　そのきよきふみぞ
つねによろこびて　わがかみぞたのめ

(3)
父も子もきよき　みたまもかみなり
みつなるみ名をは　ひとしくほめよな

第三十三 Ortonville. オートンブイール

(1)
わがすくひぬしを　おもひみれば
そのかほもこゑも　あなうるはしな

(2)
此よにたぐふべき　ものはあらじ
天のつかひたちも　ほめたたへり

(3)
みざよりのぞみて　よをあはれみ
さかえをもすてて　十字につけり

(4)
かかるめぐみをぞ　わすらふべきや
われはそのかみを　ひたすらほめん

第三十四　Harwell. ハーウエル

(1)
かみのいつくしむ　耶穌よにくだり
我(われ)らをとまさんと　まづしくなりて
まくらをさだむる　いへもなかりき

○さんびせよ　さんびせよ
さんびせよ　ああめん

(2)
めぐみあるきみは　よそあはれみて
みづからさきたち　まよへるわれを
ただしきみちへと　みちびきゆけり

(3)
主耶穌のめぐみは　みならきよりぞ
いのちのもとなる　きみがみんづを
かしこみあがめて　よろこびうたへ

第三十五　The Sweetest Name. ザ スウイーテスト ネーム

(1)
耶穌の名にまさる　てんにちにもなし
ちちのみこころを　よにあらはせり

○これら耶穌のまへ　うとふぞ好(この)む
此名(このな)てんにちにも　いやまし尊とむ

(2)
わがすくひぬしは　てんよりくだれり
萬民をすくふ故に　耶穌となづけけり

(3)
十字につけしとき　このなをかけし
萬民この名をみて　耶穌をあいすべし

(4)
いま天にのぼりて　みぎの方(て)にざし
治(をさ)めたまふ耶穌は　あたはざるなし

第三十六　Pleyel,s Hymn. プレイエルス ヒム

(1)
エホバをほめよ　エホバのらみは

(1) いけるひとりの　まことのかみぞ

(2) かれ ただしく　きよきかみにて
ちゑもめぐみも　つくることなし

(3) はじめなければ　をはりもあらず
ながくさかえて　いまさんかみぞ

(4) よろづのものを　はじめにつくり
つねにまもりて　ただしくをさむ

(5) その名をあがめ　めぐみのもとに
ながくつかへて　よろこびうたへ

第三十七 Lenox. レナツクス

(1) てんちのさきに　めぐみさだめ
十字のうへに　血をながして
けがれしこころを　洗ひきよめたまふ

(2) ちちのめぐみ　われらうたふぞ
耶穌のみ名に　よりてうけよ
ほまれとさかえ　みたまにきせよな

(3) 地なるつどひ　ここやかしこ
かみのつかひ　ほめてうたふ
へだてぬさかえ　かぎりもあらじな

第三十八 Ortonville. オートンビル

(1) ひとりのみ子をば　あたふるほどに
ひとをいつくしむ　ちちをほめよ

(2) その血をながして　つみをあがなふ
われらのきみなる　耶穌をほめよ

(3) ながれしこころを　あらひたまふ
きよきみたまなる　かみをほめよ

第三十九 The Sweetest Name. ザ スウィーテスト ネーム

(1)
いつくしみふかき　われらのかみは
よをいつくしみて　み子をくだせり
○われらのかみと　耶蘇キリストを
つねにいつくしみ　ほめたたへまし

(2)
かみのみ子耶蘇は　さかえをすてて
いやしきこれにま　くだりたまへり

(3)
耶蘇よにくだりて　マリアにうまれ
ピラトのしたにぞ　くるしみをうく

(4)
われらにかはりて　耶蘇はくるしみ
十字架のうへにぞ　血(ち)をながしける

(5)
耶蘇血をながして　つみにけがれし
わがたましひをば　あらひきよめり

第四十 Gethsemane. ゲスセマネー

(1)
めぐみにとめる　まことのかみは
つみをおかして　さからふわれを
つねにみすてず　あもれみたまふ

(2)
われをあはれむ　そのみこころも
ちひろのうみの　そこよりふかく
くむともつくる　ときはあらじな

(3)
くめどもつきぬ　いのちのみづを
おしみたまはで　まづしきわれに
あたへしかみは　めぐみにとめり

第四十一 Jesus Leves Me. ヂーザス ラブス ミー

(1)
耶蘇われをあいす　聖書(せいしよ)まぞしめす
かれつよければ　われおそれじな
○あゝ耶蘇あいす　あゝ耶蘇あいを
あゝ耶蘇あいす　聖書ふしめそ

(2)
耶蘇己がために　あめの戸(と)ひらき
わがつみきよめ　そこにぞいらせん

(3)
耶蘇あいそいつも　われよわけれど
我(わが)やまひたすけま　そざよりくだる

(4)
耶蘇いまともま　ゆくみちあゆむ
己れ死すとても　耶蘇天(てん)にともなふ

第四十二 Gethsemane.

(1)
わきそよにうめる　そのちちはその
めぐみもちひろの　うみよりふかく
そらまそびへたる　やまよりたかし
己れはちちはその　めぐみぞ志れり

(2)
わきちちのひざを　志とねとおして
はるの日のどかに　たはむきくらし
はそのふところを　ねどことおして
あきのよ志づかま　ねむりあかせり

(3)
ちちもてそとりて　わきをあゆませ
ははれいたきてぞ　己れをふさしむ
さむからぬ身にも　ころもをかさね
うゑざるはらにも　ちちそみたせり

(4)
己れをあはきみて　おしへしちちと
己きそいつくしゑ　そだてしははを
わきまあたへしれ　たきのめぐみぞ
己れも志らぞして　このよまそめり

(5)
わきまちちははを　あたへしものを
志らでさからひし　このつみびとま
ちちやもはよりも　めぐゑのふかき
まことのちちをぞ　あらはしたまふ

(6)
かみのいつくしむ　ひとりのみこの
めぐゑのひかりは　あさ日のごとく
かがやきわたりて　わがちちははの
めぐみはきはゆく　ほしとこそおき

第四十三 Hail to the Brightness.(ヘイル ツザ ブライトネス)

(1)
わがきみ耶穌キリストは
ひとぞあいしおさめたまふ
そのみこころたぐひなし
これよのひとのさいはいぞ

(2)
はじめなきまことのかみ
けがれたるよのために
きよきふみぞおしふるは
ゆたかなるめぐみなり

(3)
すくひぬしよにくだるは
かぎりなくぞたのしき
こゑのなくてかなはざる
日日(び)のかてをたまへり

(4)
あま津かみをほめたたへ
たみはこゑをあぐべし
あがなふきみをよもひるも
てんのつかひはうたへり

教の歌

第四十四 Hendon.(ヘンドン)

(1)
すべてのたみよ　よろこぶこゑを
エホバにたゝく　あげてうたがへ

(2)
かれのみまへは　うたひてきたれ
なんぢらエホバは　ゝみとなるべし

(3)
われをつくりし　ゝみもかれなり
己が身はわれと　つくらぬものぞ

(4)
われかみのたみ　そのくさむらは
かはれてすめる　ひつじとなりぬ

(5)
いはひまつりて　みかどはきたれ

みなをあがめて　みやにいるべし

第四十五 Autumn.
オートム

(1) こころのまづしき　ともよろこべ
たのしきみくには　おのがものなり
〇われらかみのため　このよにありて
ちからをつくそれ　さいはひなるぞ

(2) かなしめるものよ　しばらくしのべ
なぐさめらるべき　ときはあるなり

(3) にこやかなるもの　ながくたのしめ
めぐみのちかひの　くにぞうけつがん

(4) うゑかわくごとく　ただしきことを
したへるものこそ　あくときあらめ

(5) あはれむこころを　たもてるひとは
かみのあはれみを　うくべきものぞ

(6) こころきよきもの　よろこびまてよ
かならずかみをば　みるときあるぞ

(7) やはらぐことをば　もとむるひとは
かみの子とよばれ　さかえぞうべし

(8) ただしきによりて　しばしせめられ
ながくみくにをば　わがものにせよ

第四十六 Sweet Hour of prayer.
スウイート アワル アブ プレヤル

(1) キリストのまへに　よろこびつどひて
そのいつくしみと　めぐみをおぼえよ
キリストのわれを　いつくしむごとく
ともにいつくしみ　たがひにかたれよ

(2) キリストのために　おのれをばわすれ
ちからをつくして　さかえをあらはせ

キリストわれらを　みちびきたりて
われらとともにぞ　あつまりたまへる

(3)
キリストをおのが　かしらとあがめて
手あしとなりたる　兄弟よわがともよ
たがひにしたしみ　ともによろこびて
キリストのみなを　ほめたたへまつれ

第四十七 Balerma. バレルメー

(1)
とがくちはつねに　エホバをほめん
へりくだるものは　よろこびきかん

(2)
したしめるものよ　わきとともに
エホバをあがめて　みなをたふとめ

(3)
くるしめるときに　かれをよべば
みゝをかたむけて　ききたまへり

(4)
エホバのつかひぞ　われをまもり
かこめるあたをも　しりぞけたまふ

(5)
こころのいためる　ひとはきたれ
かれはあはれみて　こきをいやさん

第四十八 To Day. ツーデイ

(1)
けふ主がまねく　きたきよ
よみちたどる　さまよふひと

(2)
けふ主がまねく　いそげよ
ほろびちかく　きたるぞ

(3)
けふ主がまねく　すゝみて
すくひぬしふすがきよ

(4)
けふ聖靈まねく　まかせて
こころやすく　したがへ

第四十九 Auburn. アウボルン

(1) われあしきものの そむかりごとは
みをうしなふとも したがふまじ
(2) つみびとのあゆむ そのみちには
たからをうるとも すゝみゆかじ
(3) あなどれるものの そのむしろは
いかにとめるとも つらなるまじ
(4) エホバのおきてを よるもひるも
たえずよろこびて おもひつづけん

第五十 Varina.（ブァリナ）

(1) さまよへるものよ たちかへりて
あまつふるさとの ちちをみよや
つみをばくやめる そのこころは
ちちよりおくりし たまものなり
(2) さまよへるものよ たちかへりて
ちちなるみかみの そのみまへに
まことのくいをば いひあらはせ
ひとはしらずとも ちちはしれり
(3) さまよへるものよ たちかへりて
耶穌のあしもとに とくひれふせ
かれはあはれみて てをさしのべ
こぼるるなみだを ぬぐひたまはん
(4) さまよへるものよ たちかへりて
十字架のうへなる 耶穌をみよや
血しほのながるる てをひろげて
いのちをうけよと よびたまへり

第五十一 Rock of Ages.（ロック オブ エージス）

(1) サナダにとられ わなにかかりて
死ぬべきひとよ はやくものがれ
いけるみちなる キリストにゆけ

(2) あやうきおのが　ちからをたのみ
ほろぶることも　しらざるひとよ
やすきみちなる　キリストにゆけ

(3) うれひのふちに　その身をしづめ
おぼるるひとよ　すくひをうけて
たのしきみちの　キリストにゆけ

(4) いつはりおほき　このよになれて
おのれとひとを　あざむくものよ
まことのみちの　キリストにゆけ

(5) つみをくいて　あくをあらため
めぐみをあふぎ　あまつみくにへ
ゆくべきみちの　キリストにゆけ

第五十二 My Savior's Voice.（マイ セーブヤルス ボーイス）

(1) なみだのたになる　このよにさまよひ
なげくものはきけ　かみのこゑはいま
きこえり
○かみのこゑの　ありがたさよ
なみだを　ぬぐはんとよべり

(2) おしきひとり子を　うしなへるたやも
いつくしむつまよ　さかれしおのこも
みなきけ

(3) やまひにくるしみ　まづしきをうれひ
のぞみをうしなひ　たのみなきものは
きくべし

(4) かみのみちゆゑに　はづかしめをうけ
耶穌のみ名のため　せめらるるものは
よくきけ

第五十三 Hold the Fort.（ホールド ザ フオルト）

(1) ねむれるつみびと　めをさまし

とくおきあがりて　はたらけよ
○まことのひかりに　てらされて
くらきはややにぞ　さりゆける
(2)
くらめるこころの　とをあけて
ひかりのをしへを　うけいれよ
(3)
死かげにすむもの　とくいでて
いのちのみちへと　いそぎゆけ
(4)
くらきのきみをば　とくさりて
ひかりのちちまと　たちかへれ
(5)
ひかりの子(こ)どもは　よろこべよ
夜(よ)はあけあさ日(ひ)は　のぼれるぞ

第五十四　Sicilian Hymn.（シシーヤン　ヒム）

(1)
これらのちちなる　まことのかみは
いとたかきあめの　みくらにませど
へりくだるものの　こころにそめる
(2)
われらのきみなる　耶穌(キリスト)は
いとたかきかみの　ひとり子(ご)なれど
さかえをすてゝぞ　よにくだりける
(3)
きよきみたまなる　そのかみかぜは
あまつみそらより　よにふきくだる
あをひとぐさをぞ　なびかせたまふ
(4)
ひとはあらがねの　つちよりいでて
もとよりいやしき　ものにしあれど
その身をわすれて　おごりたかぶる
(5)
いざへりくだれや　つみのともどち
たかぶるこころの　かうべをたれて
十字架(じふじか)のもとに　とくひれふせよ

第五十五 O how I love Jesus（オー ハウ アイ ラーブ ヂーサス）

(1) 耶穌ひとかはりて 十字架につき
いたくくるしめる これかみなり
○耶穌にしたがへ 耶穌にしたがへ
耶穌にしたがへ かれはたすけん

(2) わがつみのために かみは死せり
これぞかぎりなき おんめぐみなり

(3) そのいつくしみを ふかくおもひ
つみをくやみなば たすけはあらん

(4) かみのみこころに たがふとも
おん愛(いつく)しみには むくいがたし

第五十六 Moso

(1) あをありと ほこれるひとよ
いそぎきけ けふとぞつぐる
よろこびのこゑ

(2) けふといふ けふそのこゑの
きこえぬる けふのすくひを
なほざりにすな

(3) たれにても われにきたらは
すてじとの めぐみのちかひ
たのめつみびと

第五十七 Webb（ウエッブ）

(1) たてよもののふ 主のために
十字のみはた ふりかざせ
すべてのあだを ふするまで
かちにかちてぞ みちびきなん

(2) たてよ主のため みちからに
すがりて肉を たのまずて

主のみことばを身によろひ
みうまのさきを まもりてよ

(3)
たてよいくさは をはりなん
あだをふせにし おほぎみは
いのちのかむり いただきて
すべてのよまで おさむべし

第五十八 Webb.

(1)
いそげやいそげ たびとよ
みちにてやすむ ことなかれ
ときうつりなば よとなりて
やみとなやみに かこはれなん

(2)
そらかきくもり あめそそぎ
かぜすさまじく ふきおろし
死のなみたかく うちよせて
ながゆくみちを ふさぐべし

(3)
のどけきそらと みるほどに
やがてほのほの ふりきたり
あなおそろしや ときのまに
ソドムのむらは ほろびにき

(4)
かみのつかひに みちびかれ
やまべをさして のがるゝや
うしろをみるな とどまるな
いそげやいそげ たびのひと

第五十九 Martyn（マーチン）

(1)
やまひのとこに くるしむものよ
よきくすりなる をしへをききて
からだのみかは たましひまでも
ほろぼすつみの やまひをいやせ

(2)
やまひにかかり かなしむともよ
よしももとせの よはひをふとも
ただときのまの いめのよなれば

死なぬいのちを　うるにはしかじ

(3) やまひのために　ねむらぬひじよ
よも日もながく　おぼゆるほどの
そのくるしみも　のちのさかえに
おもひくらべて　しのびこらへよ

(4) かみの子(こ)耶穌は　やまひのものを
すくはんためにと　このよにくだり
むかしもいまも　またのちまでも
をかするものを　いやしたまへり

第六十 Woso.

(1) おそろしや　のどけきそらと
みるほどに　やがてほのほ(ヲ)れ
ふりきたりけり

(2) ときのまに　ソドムのむらは
ほろびしと　きけどもさらに
おどろかせして

(3) ひとはみな　くちはてぬべき
かてのため　にしにひがしに
はしりゆくなり

(4) わがきみの　そのいましめを
うちわすれ　ほろびのまちに
せむひとよきけ

(5) あたらこの　めぐみの日をぞ
いたづらに　あらしくらして
死なばいかにぞ

(7) つきぬうじ　きえぬほのほ(ヲ)の
そのうちに　くるしむのちの
むくひしらせや

(7) ためらはで　あまつつかひ(イ)の

てにすがり　かみのみやまに
いそぎのがれよ

(8) うたがひて　うしろをみなば
たれもまた　しほのはしらと
なりはてぬべし

第六十一　Hold the Fort.（ホールド ザ フホルト）

(1) みちよしたがふ者（もの）　よろこべよ
耶穌はかぎりなき　すくひぬしぞ
○耶穌よくまもりて　我（われ）をたすけん
勵（はげ）みてしのばんと　我（われ）こたへん

(2) あくまにひかれて　まどひゆき
かれはしたがふ者の　あまたあり

(3) 主のたまものをば　身はよろこひ
あくまをふせぎて　たたかふべし

(4) あだをふせぐこと　かぎりあらん
主のちからにより　われかちなん

(5) みちにしたがふ者（もの）　よろこべよ
かみなるエホバは　ともなるぞ

第六十二　Happy Land.（ハッピイ ランド）

(1) たのしきくにも　天にあり
信（しん）じやはさかえて　かがやく
耶穌をあがめて　いとよくうたへ
こゑをたかめて　たたえ・せぞ

(2) たのしきくには　なんぢこよ
うたがふなかれ　はやくも
たのしみおほく　うれひもつきぬ
われとおなじく　いませり

(3) もろびとそこは　よろこぶ
わがちちそこを　おさむる

このちにきたれ　そこにさかえて
かみのみまへは　なれぞ

祝のうた

第六十三 Antioch. アンチオーク

(1) たみみなよろこべ　きみきたれり
よろづのものはま　きみをみよな

(2) すべてそのきみの　たすけぞうく
のもやまもうみも　いはひうたへ

(3) つみもかなしみも　おひしげらで
のろはれし地にも　めぐみあれな

(4) まことただしき　さばきをうけ
そのいつくしみに　みなしたがへ

第六十四 Telemann's Chant.

(1) うみにひびかせ　よろこびうたへ
耶穌きみさばく　ときはきたりぬ

(2) たみみないでて　すくひてぞほめよ
耶穌よをかさね　さばきこそすれ

(3) しまじまあれ地　みなもろともに
耶穌こそきみの　きみとはうたへ

第六十五 Rosefield. ローズフヒルド

(1) ダビデのをさの　ふたりはともに
そのふるさとの　ユダヤのむらに
ときのみつるを　よろこびまてり

(2) ときこそみつれ　ひとりのみ子を
うみたまもりて　みまつりごとを
かたにぞおはせ　よき名をあたふ

(3) その名はよにも　たぐひあらじ

平和（へいわ）のきみよ　ながくぞいまを
わきらのちちと　たれかはほめぬ

(4)
ひがしのかたの　はらせはきたり
たからのはこそ　ひらきてささげ
いめにぞかみの　つげをばうけし

(5)
かがやくはしの　ひかりをたづね
けさんとをれど　ヘロデいうせて
ユダヤのやみは　ひるとこそあれ

第六十六 Hold the Fort.

(1)
よにすむつみびと　よろこべよ
すくひのぬしをば　うみたまふ
○耶穌よにくだりて　われをたすけん
よろこびうたひて　ほめたたへん

(2)
くらさにをるひと　めをさませ
ひかりのつかひぞ　ふれしめを

(3)
すべてのたみみあ　おきてきけ
これよろこびなる　れとづきぞ

(4)
ひつじをかふもの　ゆきてみよ
うまやのうちある　まぶねにぞ

(5)
そくひのぬしある　おさなでは
ぬのまてほつまき　いますなり

(6)
ひかしのはかせも　ほしをみて
たからをたづさへ　きたりける

(7)
ヘロデそくらきよ　すめばこそ
かがやくひかりを　おそれたれ

(8)
かみよは栄光　地に平和
すべてのひとよを　めぐみあれ

第六十七 Shall we Gather at the River シャル ウイ ギャザル アツト ザ リヴアル

(1) われらとくたちて　ともにあつまらん
おさなごのいます　うまやにぞゆかん
○我(われ)らそのまへに　急(いそ)ぎあつまらん
天のつかひと共(とも)よ　かみをぞ崇(あが)めん

(2) これらのためよと　すくひのぬしは
いやしきこのよよ　うまれたまへり

(3) 羊(ひつじ)かひはいそぎ　ダビデのむらよ
をさなごたづね　はしりてゆけり

(4) はかせもきたりて　たからのはこを
ひらきてぞささげ　かれぞおがめり

(5) こどもらもきたり　めぐみのもとに
よろこびてうたひ　かみをあがめよ

(6) うるはしくむすぶ　かみのめぐみの
こかげにぞつどひ　たまものうけよ

第六十八 Antioch. アンチオーク

(1) あさ日ハのぼりて　よぞてらせり
くらきよそむひと　きたりあふげ

(2) ちゑにとめるもの　よにいでたり
おろかなるひとハ　きたりまなべ

(3) ちからのあるもの　よよのぞめり
よわきそのひとは　きたれたのめ

(4) 安(やす)きをたまふもの　よにくだれり
くるしめるひとハ　きたりうけよ

(5) 慰(なぐ)さめたまふもの　よよれたれり
うれひあるひとハ　きたりつげよ

(6)
命ちをたまふもの　よまきたまり
つみましせるひと　きたりいきよ

(7)
我ら(われ)のすくひぬし　よにうまれり
たかきもひくきも　きたりいはへ

(8)
あめつちのあるじ　よまあらはる
よろづのものみな　うたへ

第六十九　Harwell.（ハーウエル）

(1)
ひつじをかふもの　よるそのむれを
まもやておりしに　かみのつかひ
かきらまきたりて　ひかりをはなつ
○りきらは　おそれて
おどろきあへり

(2)
かみのみつかひは　おそるるなかま
よろづのたみまぞ　みなかかはれる

よきれとづれぞば　つぐるといへり
○かれらは　よろこび
うたひて　ゆけり

(3)
つかひとともまぞ　あまたのものも
あらはれてかみを　ほめたたへける
たかきところなる　かみにはさかえ
○つちには　おだやか
ひとにも　めぐみ

(4)
めぐみあるかみは　これらのために
さかえをすててぞ　このよにうまれ
みづからくるしみ　われらをたすく
○すくひの　ぬしをば
あがめて　ほめよ

(5)
すくひのぬしをば　あがめてほめる

そのこゑをきけば こころもいさみ
のぼりてゝみにと ちかづきゆけり

○こゑをばたかめて
よろこびうたへ

第七十 Mendelsshon.（メンデルソン）

(1) あまつつかひの つぐるをきけよ
けふわれらのため すくひのぬしは
ダビデのむらに うまれたまへり
これよろこびの おとづれなるぞ

(2) すべてのたみよ みなたちいでて
あまつみそらに われらのきみの
たかくあげたる そのかちどきぞ
ともにさけびて よろこびうたへ

(3) たみみなたちて よろこびいさめ
つみに死にたる そのこどもらも

けふわがきみと ともにうまれて
ふたたびちちの いへにかへれり

(4) みなめをさまし よろこびあふげ
きみはあさ日（び）の のぼれるごとく
くらきこのよの ひかりとなれば
いまぞさかゆる よものくにたみ

(5) あまつつかひと ともにうたへよ
たかきところの かみにはさかえ
ちにはおだやか ひとにはめぐみ
これ己がきみの たまものなるぞ

第七十一 Sweet Hour of Prayer.（スウイト アワル アフ プレヤル）

(1) きみはうるはしき むらにうまれたり
たかきところなる かみにさかえあり

○高（たか）きところなる みかみにはさかえ
土（つち）にはおだやか ひとには恵（めぐ）みあり

(2) ひかりのつかひは　よろこびうたへり
ひくきところなる　つちにいおだやか
(3) たみ〻なよろこび　共にぞほめうたふ
ひとにはすくひの　めぐみあれかしな

雜歌

第七十二 Sweet Hour of Prayer.

(1) いつくしむともよ　いま汝ぢのくちに
くらへるまことの　くひものぞみよな
十字架のうへにて　さかれたまひまし
かみのこひつじの　そのよくなるぞや
(2) なたしめるものよ　いまそのてにとる
たまのさかづきの　のみものをみよや
罪をゆるさんとて　ながされたまひし
新らしきちかひの　血しはなるぞかし
(3) かれはよくをさき　血を流したまひて
うゑかはきたりし　我らのたましひの
のみものとなされ　くひものとなりぬ
かゝるめぐみをぞ　いかでかわすれめ

第七十三 Boylston.

(1) かみがくだり　ひととなりて
ユダヤに生きしが　これ耶穌なり
(2) をさなきより　みおやにつかへ
こころつくせしが　わがのりなれ
(3) あゝへりくだり　なやみをたすけ
おしへをなせしが　わがみちなり
(4) ひとにかはり　つみをあがなひ
十字架に死せしが　わがすくひなり

第七十四 Retreat.

(1) なみかぜのあらき　うきよをたちさり
のがるるところぞ　めぐみのしたなる

(2) ああ耶穌とわらが　すむべきところは
このよにまさりて　たのしきくになり

(3) 耶穌にまかせなば　ひとつに集まらん
すみかへだつとも　みさの本にあはん

(4) よろこびてのぼる　あまつくにこそは
つみもかなしみも　わするるくになれ

第七十五　My Home is in Heaven.（マイ ホーム イズ イン ヘーブン）

(1) わがふるさとのすみかは
たかきうへのくになきば
よにはやすむところなし
おもひわづらふことあらじ
神のつかひは　よろこびて
あまつみくにのすみかへ
きたれとわれをまねきて
たまのかどにぞうたひける

(2) なやみはわきぞうながし
よのたびぢをやちぢむらん
たのみなきはうきよなり
わきはここになかねせじ

(3) ひとのたてしまちならで
つみもむくひもなきさとへ
ゆきてぞそこにすみなんと
つねにのぞむたのしさよ

(4) ちちのくにをつぐことは
いまのよにしあらざれば
こころをここにとどめぞ
のちのよをぞいそがるる

(5)
いばらあざみをいとはじ
はなのしとねはのぞまじ
これは耶穌のふところに
やすまんときをまちぞをり

第七十六 Shall we Gather at the River.
シヤール カイ ギアゾル アツト ゼ リバア

(1)
われら天のみづに 聖者とあつまらん
かみの坐(ざ)にちかき ながるにぞすまん
○我(われ)らそのかはに げにやあつまらん
てんのしやうじやと ともに
かみにちかづかん

(2)
よろこびてうたひ きよきかはべを
かぎりなくあゆみ かみをあがめよ

(3)
きよきそのみづの ながれにすまはん
かむりやころもの たまものをうけん

(4)
聖者(せうじや)は死によりて ともにわかきを
すくひ主(ぬし)をあふげ かれにかがやく

(5)
かがやくかはにと たびだちいそがん
われらのこころぞ はやくぞやすめん

第七十七 Martyn.
マーチン

(1)
こきわがちちの わけあたへたる
そのたまものを うけていく日も
いまだへなくに みなとりあつめ
とほきくにへと たづさへゆけり

(2)
これわがちちの をしへをわすれ
たびのやどりの はかなきいめに
こころうかれて あそびめのため
そのもちものを みなつひやせり

(3)
われわがちちの そのたまものを
みなつひやして ともしくなれり

としのみのりも いとあしければ
かてをたちてぞ これはうゑける

(4)
われわがちちの そのいへならで
たのみすくなき うきよのともに
しばしこの身を よすれはかれは
われをさびしき のにつかはせり

(5)
われわがちちを はなれてひとの
けものかうみと おちぶれたれば
まめがらだにも はらにはみたず
ものをあたふる ひともなかりし

(6)
われわがちちの いへをおもへば
かてのあまれる しもべもあるよ
ちちのこどもと よばれしわれは
うゑつかれてぞ 死ぬばかりなる

(7)
こきわがちちに かへりていはん

われわがちちと かみのみまへに
つみをおかせし 身となりたれば
子ととなふるに たらざるものぞ

(8)
われわがちちの いへをのぞみて
はるかまたてば わがちちわれを
みるよりはやく はしりちかづき
くびをいだきて くちをぞつくる

(9)
われわがちちよ かへればちちは
つみをばとはず ただよろこびて
いとうるはしき ころもをあたへ
ゆびにこそそめ くつをはかせり

(10)
わがちちやがて こえたるうしを
ほふりてわれと ともにたのしみ
死にたるものの いきかへれるぞ
よろこぶちちぞ われのかみなる

第七十八 Ortonville.（オルトンブイル）

(1)
みことのちちなる これのかみよ
いつくしむともを めぐみたまへ

(2)
かみよねがはくは われのともを
うみにもおかにも まもりたまへ

(3)
これらのきみなる 耶穌（キリスト）よ
よもひるもかれと ともにあれな

(4)
きよきみたまなる われのかみよ
かれをなぐさめて ともなひゆけ

(5)
かれをともなひて かへるかみよ
またみちびきても われにきたれ

(6)
いつくしむともよ われねむらむ
耶穌の日において よろこびあはん

第七十九 Benevento.（ベネベントー）

(1)
これわがともに わかれてとほく
身はへだつとも こころはかれの
あとにしたがひ はまべのみかは
ふねのうちまで ともなひゆけり

(2)
ふねはみなとを いづるときて
ひとはかへれど わがたましひは
めにもみえねば いそきてふねを
されとうながす ひともあらじな

(3)
ひとはこなたの きしべにたちて
ふねのうへより まねけるともの
そのてぬぐひの みゆるかぎりは
わきめもふらで ながめやりけり

(4)
わが身はあとに のこれどともを
おもひやりぬる こころはつねに

(4) ちさとのなみを はるかまこえて
まだみぬくまの きしまぞのぼる

(5) またみぬくにま いるよりはやく
わがともわきを むかへておのが
いへまつれゆき ともによろこび
うたるとみえし いめもうれしな

第八十 Hummel. ハムメル

(1) みじかきこのよの たびのともよ
しばしわかれて もなるとも

(2) ふたたびあひてや ともにかたらん
こころをおとさで いさみをすめ

(3) ふねまもおかまも たたますくま
もとゐあるしろを のぞみてゆけ

(4) たまのとひらきて ちちれともの

きたるそいまやと まちたまへり

(5) あとにおくきゐて ともをみやる
こころはみくにの きしまでゆかん

第八十一 Naomi. ネオミイ

(1) すくひのぬしなる 耶穌キリストよ
わきらのともをば ともなひゆけ

(2) そのくまへりへる たびのみちを
うみにもおかにも まもりたまへ

(3) われらいてなたの きしべにたち
ほかげをみやりて なほいのきり

(4) いつくしむともよ よるもひるも
只(ただ)耶穌キリストに をがりてゆけ

第八十二 Weld.

(1)
やみよのやみも　はれやかに
しののめいづる　あしたこそ
あをひとぐさの　まごころに
くゆればつみも　きゆるめれ

(2)
かみのめぐみは　むらさめの
つゆとひとしく　われわれに
ひかりかがやく　ことくにて
げにたふとくぞ　みえにける

(3)
おかしきたれる　つみびとの
まことのみちに　したがへば
すくひのぬしの　めぐみにて
いさぎよきみと　なりぬべし

(4)
あまつみくにの　ましみづの
すくひのかはに　せきいれて
よろづのくにの　はてまでも
おつるくまなく　ながすべし

第八十三　Webb.

(1)
あまつをとめの　そみあそぶ
きよきかはらに　うつせその
からをすつれば　たましひは
いたれることの　かなふかや

(2)
からをすてにし　たましひも
まことのみちに　したがへば
あまつひじりと　もろともに
へだてぬなかと　なりぬべし

(3)
たまとうきたつ　とぶあはの
きよきかはべに　おりたちて
けがれしあしを　あらひさり
たのしむみとや　なりぬらん

(4)
うきよのつみを　あらひさり
いさぎよきみと　なるひとの

いのちをはらん　ゆふべには
かみのみやこに　いたるべし

第八十四　Martyn.（マーテン）

(1)
エホバはわれを　かふものなれば
われよわそめど　ともしくあらじ
しげれるそのに　われをふさしめ
きよきみぎはに　われをみちびく

(2)
まよへるわれを　たちかへらしめ
その名のために　われをただしき
みちにぞすませ　つえとしなれば
死かげのたにに　ゆくもおそれじ

(3)
かれわがあたの　そのまへにさへ
むしろをひらき　われらのかうべに
あぶらおそそぎ　わがさかづきも
あふるるばかり　めぐむうれしさ

第八十五　Hebron.（ヒブロン）

(1)
かみわがしろなり　わがちからなるぞ
くるしめるときに　いと近（ちか）きたすけぞ

(2)
地うつりうみなり　やまはうごくとも
われらはおそれじ　かみまもるわれぞ

(3)
ひとつのかはあり　みやこぞたのしき
かしこはうごかじ　かみはやくたすく

(4)
ことくにはさわぎ　あめのしたみだる
かみのこゑたかし　地はやがてとけぬ

(5)
主のわざみよかし　ほろびはいかにぞ
戰（たゝ）かひはやみにき　地のきはみまでも

(6)
萬軍の主エホバは　われらとともなり
ヤコブのかみこそ　われらのしろなれ

第八十六 Shirland. シルランド

(1) とめるかみに やーなはる
わがみはともしき こともあらじ

(2) ながるるそのよ ともなひゆき
きよきみぎはまで いこひをたまふ

(3) わがたましひは いのちをうけん
ただしきみちにぞ ひきかへされん

(4) かみとともに いさみゆけば
死かげのたにをも われおそれじ

(5) かみまかせ たのしみをらん
エホバのみやにぞ ながくすまはん

第八十七 Ware. ウエヤ

(1) めぐみのひかりは いたらぬくまなし
まよへるこころの やみをもてらせり

(2) ねむれるよのまの わがみをはなれじ
めさめてのちよも ゆくみちをまもる

(3) エホバのさかえを あらはさんが為(ため)に
ちからをつくして みちにすすむべし

第八十八 Greenville. グリーンブヰル

(1) あれのにまよへる われをたすけよ
われはよわけれど エホバはつよし
あめのかてをもて われをやしなへ

(2) つきせぬいのちの みなもとひらき
くものみはしらや 火のはしらそを
わがさきにたてて われをみちびけ

(3) おそるることなく ヨルダンのかはを
渡(わた)りてカナンまで つかしめたまへ

かぎりなくそこよ　エホバをあがめん

第八十九　Bethany. ベサニー

(1)
わきのかみに　ちかづかん
よしやうきひ　しのびなん
われうたふべき　わきのかみに
ちかづなまし　ともならん

(2)
さまよふままに　これらも
めさへくらみ　なほうたふ
いはのまくら　ねむらんときれ
りみとわれや　あらんかも

(3)
わきのほとりて　てんまゆかん
かみのみわざ　よくあらん
かみのつかひ　われをまねき
わきのかみま　ともなはん

第九十　Stockwell. ストックウエル

(1)
よのあくるときや　日くるるときも
耶穌とともなきば　たのしくぞある

(2)
このよをもなれて　さりゆかんときも
耶穌にともなれば　おそきばあらじ

(3)
つみをさばかるる　ひとはくるしまん
耶穌に救はれなば　これはやすからん

(4)
主のまへにたちて　よろこぶときに
これがきみ耶穌をも　あがめうたふべし

第九十一　Dennis. デンニス

(1)
こころながく　みちはまよひ
たちかへりこぞば　やそみあらじ

(2)
そくひのかどを　ゐまひらけば
ちちのふるさとへ　かへらんわきは

(3) そこはいかにも　きよくぞあらん
いまともしけれど　のちにはとまん

(4) 耶蘇を信じて　義とせられし
あしかるみちには　まよひゆかじ

第九十二 Horton. ホルトン

(1) 耶蘇はわれらが　こころのやみを
てらすまことの　ひかりとなれよ

(2) 耶蘇のひかりは　つねにてらして
ともにしあれば　われくらからず

(3) みちふみまどふ　やみのよごろも
ひかりてらせば　われはおそれじ

(4) よのうきくもよ　かれをかくすな
ひかりあらずば　われは死ぬべし

(5) あまつみくにへ　かへりてのちも
ちちのみまへに　ひかりをあふがん

第九十三 Martyn マルチン

(1) わがたましひを　いつくしみたまふ
われらのきみよ　なやめるときも
ものうきときも　なかふところに
これをかくして　たすけたまへや

(2) 耶蘇きみならで　たれにかわれは
すがりつかまし　この身もたまも
きみにまかせて　こころのどかに
のちのよまでも　ともにぞあらなん

(4) つみよりわれを　すくへる耶蘇の
めぐみはふかく　くめどもつきぬ
いのちのみづの　みなもとなれば
よろづのひとに　おしまざりけり

第九十四 My Savior's Voice.（マイ セーブヒヨルス ボーイス）

(1) われ耶蘇のこゑを　よろこびてきけり
こゑハユダヤにも　そのやまざとにも
きこえり

○耶蘇のこゑの　うるはしさよ
われをすくはんとよべり

(2) ときはつかれたる　つみある身なれど
そのつみをゆるし　きたれとわれらを
まねけり

(3) 苦しみおほくして　わきなげくときに
耶蘇のこゑきけば　こころなぐさめて
いそげり

たましひ船ので　ただよへるときに
耶蘇のこゑきけば　なみかぜたつとも
おそれじ

(5) わがちちのかゑに　長くぞしたがはん
われ死ぬるときに　あめのとあけゆき
たのしまん

第九十五 Evan.（イバン）

(1) たのしきくにあり　きよきともは
うきことわすれて　そこにぞすまん

(2) とこしへのはるに　つきせぬはな
にほへるところぞ　わがくになる

(3) そのくにへきたる　うみぢちかし
人もきしべにたち　なほまよへり

(4) まよひのくもきり　はれきたりて
みくにみえぬれば　われおそれじ

第九十六 Rosefield.（ローズフヒールド）

(1) われたびびとぞ　うきよをわたる
あやうきうれひ　こが身をかこむ
おもむくところ　あまつふるさと

(2) そこなるたすけて　われらをまねく
つかれわすれて　ながくぞやすむ
よろこぶところ　あまつふるさと

(3) あめかぜあらく　わがみをうてり
ときさへわかず　やどるいへなし
しばしすぎゆく　あまつふるさと

第九十七 Autumn.（オートム）

(1) 我(わが)十字架をおひて　耶穌にしたがひ
よのうきことにも　こころをとめじ
このよののぞみも　みなつきはてし
かみの子(こ)となるは　たのしくありぬ

(2) よにまくまるるは　これのみならず
耶穌もわれよりも　いたくせめられ
わきらまさきだち　かへりておくる
そのたまものまぞ　わきはなぐさむ

(3) わきよわきときさま　耶穌きみはよし
あだはかこむとも　われはおそれじ
みじかきこのよの　なやみをしのび
ながくぞたのしむ　くににいらまし

第九十八 Denfield.（デンフヒールド）

(1) 此世(このよに)さいはひなる　耶穌くだりて
したがへるものの　のりとなれり

(2) 此世(このよに)さいはひなる　耶穌をしへて
したがふものをば　みなすくへり

(3) 此世(このよに)さいはひなる　耶穌につかへ
かみとともまさる　よろこびあき

(4)
此世(このよ)さいはひなる　みちをあゆみ
耶穌ともろともに　みくにぞつげ

第九十九　Joyfully Joyfully.
ジョイフルリー　ジョイフルリー

(1)
われよろこびてをすみ
きよきところゐのぼらん
耶穌われをあはれみて
いそぎこよとまねかり
こがいのちをはりなば
かみのまへにいづべし
耶穌を信じてをくはれ
ともはあるぞたのしき

(2)
あいをるともはてんにをり
われぞみていまぞまつ
なぐさめんとてみなうたひ
ときたれとはげます
てんのつりひれたのしみ
萬軍はことをひくとき
おんがくてんにきこゆれば
いさやいそぎてのぼらん

(3)
われはいつをさるとも
耶穌を信ぜはやすからん
かゞ墓(はか)にとまらねば
われもまたよみがへらん
うきこともみなさりて
いのちさへかぎりなく
日もくれぬたのしみも
つきせぬくにはかへらん

第百　Benevento.
ベネヴェントー

(1)
われのすみかは　このよにあらで
はるかうへなる　たのしきくにぞ
きみなるキリスト　われらのために
はやくところを　そなへはゆけり

(2)
なみかぜあらき　このよのなだを

こえゆくほども　われはおそれぞ
しづかにねむる　ひとよのいめの
さむるときこそ　てんのみなとなれ

(3)
かれうるはしき　その地にゆきて
さかえのきみの　ひかりをあふ(ヲ)ぎ
つみもなやみも　死もなきそこよ
ちちとともにぞ　ながくたのしまん

第百一　Far from the Fold of Jesus.
フワーフラム　ザ　フヲルドアフ　ヂイサス

(1)
くらきよにねむる　つみびとも
めぐみのひかりに　けさははや
いぶせきいめさめ　いさぎよき
うれしきみとこそ　なりにけれ

(2)
たのしきみそのの　めぐみある
すずしきみかぜよ　つみびとの
こころのくもきり　ふきはれて
きよらなるみとは　なりにけり

(3)
かみのまさみちを　しらぞして
くらきまよひし　つみびとも
くひあらためてぞ　いまはそや
まことのひかりを　あふぎける

第百二　Varina.
ブアリナ

(1)
我(われ)のたたかふべき　あだをみれば
そのひとはつよく　しろはたかし
たかきそのしろも　つよきひとも
これのおそるべき　あだはあらぞ

(2)
われのおそるべき　あだぞみよや
かれはせめもこぞ　かこみもせで
うたがひおそるる　そのこころに
ふかくこもりてぞ　かくろひ(イ)ける

(3)
こころにかくるる　わがあだをも
みたまのつるぎは　さしとほ(ヲ)せり
みたまのつるぎよ　さしとほ(ヲ)され

おそるるこころの　あだも死せり
(4) われかみとともに　いきてあれば
おそるることなく　カナンまのぼらん
われののぼるべき　カナンのくまは
このよまはあらで　かのよまあり

第百三 Olived.（オリベツト）

(1) めぐみふかき　そくひぬしよ
あおぎみ　こがいのりそ
うけこたへよ　いまものちも
おたがはん
(2) よわきときに　われぞたそけ
つよめり　これまかそり
血をおがせし　そのめぐみは
わすれじ
(3) うきよまある　われをそくひ
いだして　おぐさめよお
こきれイエスと　いまものちも
ともならん
(3) つゆのいのち　きえむてんとき
こころ　まむらがりたる
そのくもりも　あまつかぜま
ふきはきん

明治十八年三月廿四日御届
同　年四月　出版　定價金七錢五厘

編輯兼出版人　兵庫縣平民　江藤義資
府下芝區芝口三丁目五番地寄留

賣捌所　京橋區三十間堀町三丁目　警醒社
同　京橋區銀座三丁目　十字屋
同　本郷區本郷春木町二丁目　秋山光照

天道溯原　平假名附　定價五拾錢
右ハ横濱四十二番舘米國聖書會社ノ二階耶穌教書類會社出版

植村正久著奥野昌綱序
眞理一斑　定價　上等七拾五錢中等六拾五錢下等六拾錢　郵税二拾四錢
右ハ警醒社出版

米國神學博士フルベッキ氏口述
日本國牧師和田秀豐氏譯述
耶穌教證據論　定價
右ハ近日出版

米國聖書會社
書籍大賣捌所　芝區芝口三丁目五番地
江藤義資

○耶穌教聖書類賣捌廣告

訓點舊約全書上中下三卷　洋本製背金巾地圖入　各卅五錢
同　同　背革　同　各五十錢
同　雁皮紙摺　全一冊　同　同　一圓七十五錢
同舊新約全書　同　同　同　二圓
同　新約全書　同　背金巾　三十五錢
同　同　同　背革　五十錢
同　雁皮紙摺小本同　同　同　六十錢
平カナ交リ新約全書　洋本製紙表紙同　二十五錢
同　同　背金巾同　三十五錢
同　同　背革　同　六十錢
同引照新約全書　同　背金巾同　五十錢
同　背革　同　七十五錢
同雁皮紙摺　和本製　同　七十五錢
眞片假名交リ新約全書　洋本製平背革同　六十錢
カナ交リ馬太、馬可、路加、約翰、使徒行傳　各四錢
舊約箴言、撒母耳前後、耶利米亞、列王紀略、約書亞、約拿、創成紀、　自四錢至八錢
支那譯英譯其他各國舊新約全書　價種々
盲人ノ觸讀ノ凸字眞片カナ馬可　五十錢
附ス金一圓以上前金郵送アラハ運賃拙店ニテ相拂候
又會社出版ノ價附御申越アル方エハ郵送ス

大賣捌　横濱四十二番出版本社　米國聖書會社
東京々橋區卅間堀二丁目一番地　警醒社

明治十八年四月
江藤義資
謹白